国語　たしかめシート　二―①　　　　名前

**多義語**

一　次の　　　　の中には多義語が入ります。当てはまるものを、後のア～クから選び、記号で答えなさい。

　①　　　　所から下を見下ろす。

　　　この果物は、とても　　　。

　②　相手チームに　　　。

　　　二百円の品物を、百五十円に　　　。

　③　　　　アイスを食べる。

　　　あの人は、友達に対してとても　　　。

　④　　　　人物を見かけた。

　　　今日は少し雲行きが　　　。

　⑤　今日は満月なので、夜なのに　　　。

　　　彼は、このあたりの地理に　　　。

ア　切れる　　　イ　負ける　　　ウ　冷たい　　　　エ　うまい

オ　高い　　　　カ　明るい　　　キ　あやしい　　　ク　赤い

**対義語**

二　　　の中に漢字を書き、対義語を作りなさい。

　①　単純　　　　　　雑

　②　具体　　　　　　象

　③　偶然　　　　　　然

**類義語**

三　　　の中に漢字を書き、類義語を作りなさい。

　①　手段　　→　　　方

　②　簡単　　→　　　容

③　永久　　→　　　永

**漢字チャレンジコーナー**

①～④は　　　線部の読み方を平仮名で、⑤～⑧は　　　線部の漢字を楷書で書きましょう。

（⑤～⑧は送り仮名が必要な場合もあります。）

1. 時間を浪費する。
2. 元気よく挨拶する。
3. 思い出の場所を訪れる。　　　　　　　　　　れる
4. 伝統文化の継承。

⑤ 新入生をかんげいする。

⑥ 新聞にのる。

⑦ くわしく説明する。

⑧ 時間におくれる。

国語　たしかめシート　二―②　　　　名前

**熟語の構成**

一　次の熟語の構成の説明として当てはまるものを、後のア～オから選び、記号で答えなさい。

①　曲線　　　　　　②　思考　　　　　　③　開会　　　　　　④　正誤

ア　二つの漢字が似た意味の関係になっている。

イ　二つの漢字が反対の意味の関係になっている。

ウ　上の漢字が下の漢字を修飾する関係になっている。

エ　下の漢字が上の漢字の目的や対象を表す関係になっている。

オ　上の漢字が主語で下の漢字が述語の関係になっている。

**古文―歴史的仮名遣い**

二　次の　　　線部を現代仮名遣いに直し、右横に平仮名で書きなさい。

①　**いと をかし**

②　**やうやう 白くなりゆく 山ぎは**

③　**とびいそぐさへ あはれなり**

**文法―品詞の識別**

三　次の　　　線部の品詞を〈　　　〉から選び、記号で答えなさい。

①　ア　大きな夢をいだく。（　　　）

イ　わたしの夢はとても大きい。（　　　）

　　　〈ａ　形容詞　　ｂ　連体詞 〉

②　ア　それはわたしの鉛筆です。（　　　）

イ　その鉛筆はわたしのです。（　　　）

　　　〈ａ　名詞　　　ｂ　連体詞 〉

③　ア　またおいでください。（　　　）

イ　彼は俳優であり、また音楽家でもある。（　　　）

　　　〈ａ　副詞　　　ｂ　接続詞 〉

**漢字チャレンジコーナー**

①～④は　　　線部の読み方を平仮名で、⑤～⑧は　　　線部の漢字を楷書で書きましょう。

（⑤～⑧は送り仮名が必要な場合もあります。）

①　旅の支度をする。

　②　お寺の境内で遊ぶ。

　③　職人の弟子になる。

　④　類似した品に注意する。

⑤　あわてて家を出た。

⑥　じくがぶれない人。

⑦　空気がかんそうする。

⑧　学校にれんらくする。

国語　たしかめシート　二―③　　　　名前

**敬語**

一　次の会話の中には誤った敬語があります。その部分を抜き出し、正しい敬語に直しなさい。

　　生徒　　「明日、家庭訪問で先生が参られるんだけど。」

　　生徒の親「あら、そう。いただくかどうかわからないけど、お茶をお出ししないといけない

わね。」

　　生徒　　「特に何も出さなくていいと、先生は申されてたよ。家の様子を拝見されるのが目

的だから。」

〈誤った敬語〉　　　　　　　　　　　　 〈正しい敬語〉

**書写―行書**

二　次の行書を、楷書で書きなさい。

　　　 〈行書〉　　　　　　〈楷書〉

①　 被

②　 間

　③　 録

**漢文―訓読**

三　次の漢詩は孟浩然の「春暁」の一部です。　　　線部の漢字について、返り点に従って、読む順番を（　　）の中に数字で書きなさい。

　 （　）（　）（　）

　　 **春眠不レ覚レ暁**

　　　　　 （　）( ) ( )

**処処聞二啼 鳥一**

**漢字チャレンジコーナー**

①～④は　　　線部の読み方を平仮名で、⑤～⑧は　　　線部の漢字を楷書で書きましょう。

（⑤～⑧は送り仮名が必要な場合もあります。）

①　囲炉裏に火をくべる。

　②　既製品を買う。

　③　手綱をにぎる。

　④　この度はありがとうございます。

⑤　火山が溶岩をふき上げる。

⑥　いげんのある人。

⑦　条約をていけつする。

⑧　いいふんいきのある人。

国語　たしかめシート　二―④　　　　名前

**文法―用言の活用**

一　次の　　　線部の動詞の活用形を、後のア～カから選び、記号で答えなさい。

①　書かない

②　起きます

③　食べれば

ア　未然形　　　　イ　連用形　　　　ウ　終止形

エ　連体形　　　　オ　仮定形　　　　カ　命令形

**同音異義語**

二　次の文の　　　線部で使う漢字として正しいものをア・イから選び、記号で答えなさい。

①　国際情勢にかんしんがある。

　　　ア　感心　　　　イ　関心

②　あなたの意見をしじします。

　　　ア　支持　　　　イ　指示

③　絶好のきかいを逃すわけにはいかない。

　　　ア　機会　　　　イ　機械

**同訓異字**

三　次の文の　　　線部で使う漢字として正しいものをア・イから選び、記号で答えなさい。

①　何人も人権をおかすことはできない。

　　　ア　冒　　　　　イ　侵

②　数学の問題をとく。

　　　ア　解　　　　　イ　説

③　緊張して会議にのぞむ。

　　　ア　望　　　　　イ　臨

**漢字チャレンジコーナー**

①～④は　　　線部の読み方を平仮名で、⑤～⑧は　　　線部の漢字を楷書で書きましょう。

①　無理を強いられる。　　　　　　　　　　　　いられる

　②　軽やかな足取り。　　　　　　　　　　　　　やか

　③　争いが頻発する。

　④　漆黒の闇。

⑤　世界せいふくをたくらむ。

⑥　野菜をさいばいする。

⑦　権利をほうきする。

　⑧　機材をはんにゅうする。

国語　たしかめシート　二―⑤　　　　名前

**文法―文の成分**

一　次の　　　線部の修飾語が修飾している文節を抜き出し、　　　　に書きなさい。

①　母は、会社に出かけた。

②　彼は、有名な学者だ。

③　わたしは、ゆっくり顔を上げた。

**文法―助詞**

二　次の　　　線部の助詞「の」の働きとして当てはまるものを、後のア～ウから選び、記号で答えなさい。

①　子供は社会の宝だ。

　②　姉のつくったケーキはおいしい。

　③　このノートは僕のだ。

ア　主語を作る

イ　連体修飾語を作る

ウ　体言の代用

**文法―助動詞**

三　次の　　　線部の助動詞「れる・られる」の意味として当てはまるものを、後のア～エから

選び、記号で答えなさい。

①　先生にほめられる。

②　昔の姿がしのばれる。

③　賞味期限前なので、まだ食べられる。

ア　受け身　　　イ　可能　　　ウ　自発　　　エ　尊敬

**漢字チャレンジコーナー**

①～④は　　　線部の読み方を平仮名で、⑤～⑧は　　　線部の漢字を楷書で書きましょう。

（⑤～⑧は送り仮名が必要な場合もあります。）

①　恩に報いる。　　　　　　　　　　　　　 いる

　②　真紅のバラの花。

　③　敵を欺く。　　　　　　　　　　　　　　 く

　④　祝宴の席を調える。　　　　　　　　　　　　　 える

　⑤　ひとじちを救出する。

⑥　紅茶のおいしいきっさてん。

⑦　うちの犬はとてもかしこい。

⑧　疑いを差しはさむ。